

天白麻雀説明書



天白麻雀は「カード形式」の麻雀です。ルールは通常の麻雀と同じですが、カード麻雀特有の取り扱いについて、本説明書をお読みいただいたうえで楽しみください。

※参加者の話し合いにより説明書から遊び方を変えても構いません。

牌カード

通常の麻雀で使用する「牌」の代わりに、「牌カード」を使用します。

牌カードには天白区のマスコットキャラクターや名所がデザインされています。牌の図柄一覧については別紙をご参照ください。

点数カード

通常の麻雀で使用する「点棒」の代わりに、「点数カード」を使用します。カードの図柄は通常の点棒と同じです。

親決め

じゃんけんで勝った人が「親」となります。

牌の配り方

牌カードを裏向きにして、親がよく混ぜてから参加者に1枚ずつ計13枚配ります。配られた手牌はトランプのように手をもって遊びます。参加者に配り終えたあとの残りのカードが「牌山」となり、全てまとめて机の中央に置きます。(裏面図参照)

王牌、ドラ、裏ドラ、カンの扱い

牌山の一番上から14枚牌カードを取り出し、「王牌」とします。

王牌の一番上のカードをめくって「ドラ表示カード」とし、その一枚下にあるカードを「裏ドラ」とします。その2枚のカードは王牌の山と別に置きます。

「カン」をした場合、王牌の一番上のカードをめくって手牌に加えます。また、もう1枚めくって追加のドラ表示カードとし、その1枚下のカードを裏ドラとします。これらも王牌の山とは別に置きます。

ゲームの進め方

通常の麻雀と同様に進めます。

天白麻雀ゲームイメージ図



- カード裏
- カード表

